※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１２

令和５年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA１（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・年間を通して「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・生涯を通して、音楽が心の支えとなり、生きていく力となることを願います。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。
・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	題材の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	【歌唱】 校歌 翼をください Lemon 若者のすべて	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:旋律と言葉との関係に関心をもち、主体的・協働的歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	観察 実技テスト	観察 学習の記録
	表現を工夫してオカリナを演奏しよう	【器楽】 アメージンググレイス 聖者の行進	a:【知】曲想とオカリナの音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b：音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想とオカリナの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	観察 実技テスト	観察 学習の記録

※令和４年度以降入学生用

	『コード進行』をもとにメロディーをつくろう	【創作】 「『コード進行』をもとにメロディーをつくろう」 「コード・ネーム」	a:【知】音を連ねたときの響きや音型などの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表している。 c: 旋律の変化と雰囲気の変化との関わりに関心をもち、主体的・協働的に創作と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取		観察 学習の記録
	音楽を聴く力をつけよう	【鑑賞】 組曲《動物の謝肉祭》 交響曲第９番《合唱付き》から第4楽章 バレエ音楽《火の鳥》組曲	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 b:音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	ワークシート	ワークシート 観察	
2学期	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう	【歌唱】 この道 Heidenröslein（シューベルト/ヴェルナー） オー・シャンゼリゼ	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 c:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取		観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう	【器楽】篠笛 お囃子（《あんたがたどこさ》の旋律による） たこたこあがれ さくら	a:【知】曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	観察 実技テスト	観察 ワークシート
	世界の諸民族の音楽を知ろう	【鑑賞】 「世界の諸民族の音楽」 【歌唱】 京畿道アリラン	a:【知】世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	ワークシート	観察 演奏の聴取	
3学期	ミュージカル・ナンバーを歌おう	【歌唱】 美女と野獣 【鑑賞】 ミュージカル映画『美女と野獣』	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 c:音楽の特徴と他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート		観察 学習の記録
	さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう	【器楽】 ミッション:インポッシブルのテーマ 星に願いを	b:リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。		観察 実技テスト 発表	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度